

分野	授業教目名	単元名	単位数	時間数	履修時期	担当教師
統合分野	在宅看護論	在宅看護技術論Ⅱ	1	15	3年次前期	甲賀 純子

テキスト(発行所)	地域療養を支えるケア(メディカ出版)
テキスト以外の教材、参考図書	必要な資料は適宜配布します

学習のねらい	医療処置を必要とする療養者に対して、安全に実施できるための方法と留意点を理解する。 起こり得るトラブルとその対処方法を知り、予測する事、予防的なケアの重要性を理解する。
学習目標	1. 医療処置が必要となった療養者、家族の気持ちを理解する。 2. 自宅での医療処置における安全へのサポートについて理解する。 3. 医療処置に対して起こり得る危険とその要因と対処方法(予防方法含む)を理解する。 4. 自宅で医療処置を必要とする療養者と家族への必要な指導内容・指導方法を理解する。

学習スケジュール

回数	主題	学習内容	履修形態 他
1回	1. 医療処置の技術	1)在宅における医療処置の現状 2)医療処置を必要とした療養者・家族の心理と生活への影響	講義
	2. 在宅看護における安全性	1)起こり得る危険とサポート体制 2)感染予防(手洗い・物品管理・医療廃棄物) 3)医療事故防止 4)災害時の看護	
2回	3. 食を支える処置技術①	1)療養者の嚥下機能や栄養状態の査定 2)PEGの適応と種類 3)PEGの投与方法と管理方法 4)トラブル時の対応 5)家族への指導のポイント	講義
3回	4. 食を支える処置技術②	1)HPNの適応 2)投与方法と管理方法 3)トラブル時の対応 4)家族への指導のポイント	講義
4回	6. 呼吸を支える技術①	1)在宅で看護を展開するにあたって 2)呼吸機能に関する観察とアセスメント 3)在宅酸素療法の種類としくみ、適応 4)管理方法 5)トラブル時の対応 6)家族への指導のポイント 7)呼吸リハビリテーション	講義
5回	7. 呼吸を支える技術②	1)気管カニューレの適応 2)管理方法と交換方法 3)自己吸引 4)トラブル時の対応 5)家族への指導とポイント	講義

回数	主題	学習内容	履修形態 他
	8. 呼吸を支える技術③	1) 在宅人工呼吸法とは 2) 種類としくみ、適応 3) 管理方法 4) トラブル時の対応と支援体制 5) 時期に応じた指導と必要な看護 6) 家族の心理と支援	
6回	5. 褥瘡の処置	1) 在宅での褥瘡の要因 2) 褥瘡のリスクアセスメントと予防 3) 褥瘡発生時の処置と治療 4) 家族指導とポイント 5) 他職種との連携 6) 病院と在宅との連携	講義
7回(45分)			

単位認定の方法	1. 15時間のうち、80%以上の出席があること 2. 筆記試験…100点満点 3. 1の条件を満たし、かつ2が60点以上で合格とする。
受講上のアドバイス	在宅看護技術論Ⅱでは、病院で医療者が管理している医療処置について在宅での管理方法と家族への指導を学びます。医療者が傍にいない環境で、何が起こり得るか？その予防策は？など療養者・家族が安心して生活を送ることができるための医療処置技術です。今までの他領域で学んできた内容の応用でもあります。講義では、今まで学んできた知識を確認するために質問をどんどんします。復習をして臨みましょう。